

幽霊と未亡人 (1947)

THE GHOST AND MRS. MUIR

メディア 映画

ジャンル コメディ ファンタジー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 104分

初公開日 1949/04/26

公開情報 セントラル

【解説】

初期の軽快なコメディやスリラーの小品などの方が、ストーリー・テリングの達人マンキウィッツの個性を際立たせているが、本作などまさにそうで、ヒロインのティアニーの美しさ、威厳たっぷりの幽霊のR・ハリソンの名演も相まって、実に味わい深い佳篇となっている。今世紀初め、若く美しい未亡人ルーシーは姑や小姑との同居を嫌って、幼い娘（N・ウッド）と永年のつき合いの家政婦を伴い、幽霊の出るといふ海岸沿いの邸を格安で借りる。するとやはり出てしまうのはお約束。だが、その以前の持ち主ダニエル船長の幽霊に、気丈なルーシーは驚かず居住権を確保。しかし、亡き夫の資産運営に姑らが失敗し仕送りが断たれ、生活は苦しい。そこで船長は自分の武勇伝を小説に書かせ、彼女名義で発表するよう助言。初めは有閑夫人の書くものなど、と相手にしなかった出版社も、一度読み始めたら止められぬ冒険譚に、即出版を承諾。彼女は一躍、売れっ子作家となりもそこで知り合った作家フェイヤリーと親交を持つが、これが大変嫌味な俗物で、実は女房がいるのに、彼女と結婚をエサにいい仲になろうという魂胆。小説執筆以降、彼女に好意を寄せられた船長は、実体なき自分など愛さず生身のいい男を探せ、と強がりを持って突き放したが、相手がその軽薄男となれば事情は別。猛然と反対し仲違い。彼女が自らの誤りに気付いても姿を見せることはなかったが……。作家役のサンダースの好演はあっても、この中盤はいささかダレるが、素晴らしいエピローグによって帳消しにもなろう。

【クレジット】

監督	ジョセフ・L・マンキウィッツ	Joseph L. Mankiewicz
製作	フレッド・コールマー	Fred Kohlmar
原作	R・A・ディック	R.A. Dick
脚本	フィリップ・ダン	Philip Dunne
撮影	チャールズ・ラング・Jr	Charles Lang Jr.
音楽	バーナード・ハーマン	Bernard Herrmann
出演	ジーン・ティアニー	Gene Tierney
	レックス・ハリソン	Rex Harrison
	ジョージ・サンダース	George Sanders
	ナタリー・ウッド	Natalie Wood
	エドナ・ベスト	Edna Best
	ヴァネッサ・ブラウン	Vanessa Brown
	アンナ・リー	Anna Lee
	ロバート・クート	Robert Coote
	イソベル・エルソム	Isobel Elsom
	ヴィクトリア・ホーン	Victoria Horne